

〔新宿区教育委員会 教育目標〕ならびに〔新宿区教育ビジョン（平成30年度～平成39年度）〕を踏まえ、次のような観点で学校経営を進めていきます。

1 新宿区立牛込第三中学校 教育目標

社会の変化に、自己を見失わず、自ら考え、主体的に判断して行動できる人の育成と、豊かな未来社会の創造を目指す。

- ① よく見、よく聞き、自分の考えをもつ。
- ② 物事をやり抜く強い意志をもつ。
- ③ 責任を果たし、みんなのために働く。
- ④ 美しいものを求め、豊かな心をもつ。

2 グランドデザイン

「笑顔あふれる牛込第三中学校」を創る

ー牛込三中の生徒・教職員・保護者・地域で良かったー



生徒	○「知・徳・体」のバランスのとれた成長	→	自尊感情・自己肯定感
	○目標の達成（理想の実現に向けた努力）	→	主体的な自己実現・達成感
	○充実した学校生活	→	自己有用感・社会性の向上
教職員	○生徒の成長・目標の達成	→	高い職業観に基づく達成感・責任を果たす充実感
保護者	○生徒の成長・目標の達成	→	相互理解・厚い信頼感
地域	○支援による生徒の成長・地域への貢献	→	協働の喜び・充実感

3 めざす生徒像・教職員像・学校像

（1）生徒像

多様で変化の激しいこれからの社会を生きるために必要な「豊かな心＝徳」「確かな学力＝知」「健やかな体＝体」をバランスよく有する生徒を育成する。

【具体的な生徒像】

- | | |
|----------|---|
| 「豊かな心＝徳」 | ○自他の生命と人権を尊重できる生徒
○基本的生活習慣を身に付けた生徒（あいさつ、言葉遣い、身だしなみ）
○善悪の判断ができ、規範意識が高い生徒
○感謝の気持ちをもてる生徒
○地域への愛着と参画意識をもつ生徒 |
|----------|---|

「確かな学力＝知」

- 基礎的・基本的な知識・技能を習得している生徒
- 思考力・判断力・表現力等を身に付け、その力を使える生徒
- 自分に自信をもち、目標の達成に向け努力できる生徒
- 主体的に学習に取り組む生徒

「健やかな体＝体」

- すべての活動の基盤として、たくましく生きるための体力がある生徒

(2) 教職員像

- ①主体的かつ適切な判断ができ、組織として迅速に動くことができる教職員
- ②危機管理を常に意識できる教職員
- ③教員としての基礎基本を身に付け、その向上に努める教員
- ④学校の特徴を創り上げていくうえで「カリキュラム・マネジメント」を理解している教職員

【具体的な教職員像】

- 生徒一人一人を大切にでき、生徒の成長に喜びを感じる教職員
- 教育への高い意欲をもち、常に指導力向上に努める教職員
- 様々な人間関係を大切にし、お互いに高め合える（OJT）教職員
- 危機管理意識の高い教職員
- 組織の一員としての行動ができる教職員
- 服務に厳正な教職員

(3) 学校像

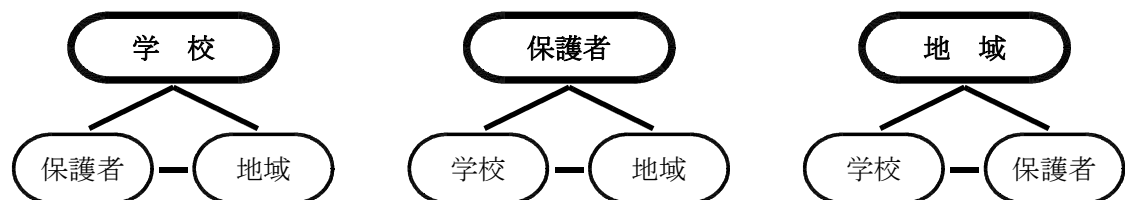
生徒・保護者・地域から信頼される学校をつくる。

【具体的な学校像】

- 安全・安心・清潔で、生徒が楽しく登校できる学校
- 規律ある学校（自主自立ーノーチャイムデーー）
- 日々の地道な教育活動の積み重ねを重視できる学校
- 心を一つにして組織力を生かせる学校
- 保護者や地域と協働できる学校

【めざす保護者・地域との関係＝地域協働学校】

- 生徒の育成は、学校が主体となり、保護者・地域が大きな支えとなる場面が多い。
しかし、その場面によっては、その主体を保護者及び地域が中心とすることもある。三者で総合的・統括的に生徒の育成を進めていく。



- 牛込第三中学校〔地域協働学校〕の教職員として、これまでの「保護者・地域と積み重ねてきた信頼」を全職員が十分に理解し、学校教育に生かしていく。
- 生徒の育成の方向として、「地域を支える中学生」を目指す。

4 平成30年度・学校経営計画（中期的学校経営を踏まえて）

（1）「豊かな心」の育成

①生命尊重、人権尊重の教育の充実を図る。

②思いやりの心や社会性の育成を図る。

そのために、道德教育を教育活動全体で横断的に行なうとともに、特別の教科「道德」（道德の教科化）の指導内容の充実「考え、議論する道德」を図る。

○人権週間を一つの契機とした人権指導の充実

○道德授業地区公開講座の充実（保護者・地域とともに生徒を育成する）

○生活アンケート、hyper・QUの実施・分析＝いじめの早期発見およびいじめ防止の強化

○「牛込第三中学校いじめ防止基本計画」および「学校サポートチーム」の積極的活用

○教育相談週間の充実、SCとの連携

○学校行事・特別活動、体験（的な）学習の充実と精査

○奉仕（的な）活動の充実（あいさつ運動、地域貢献・地域連携 等）

○リーダーの育成（リーダーシップとメンバーシップ）

○自治的活動（生徒会活動）の充実

○「暴力根絶」「暴力行為ゼロ」の指導の徹底

○オリンピック・パラリンピック教育との連携（11月落語会・3月オリンピック講演会予定）

（2）「確かな学力」の育成

①基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る。

〔朝〕 ○集中した朝読書の徹底

〔授業中〕 ○チャイム始業

○授業における指導の充実（繰り返し学習の徹底、個への指導の充実）

○授業の基本形（例：あきたのそこちから）の習得と積極的な活用

○習熟度が十分でない生徒への対応（授業中の個への指導の充実、教材の工夫、複数教材の準備）

〔放課後〕 ○放課後学習教室（学生ボランティアによる家庭教師型補充学習）の実施

〔その他〕 ○国・都・区の学力調査の分析および活用

○ねらいを明確にした長期休業明けテストやコンテストの実施

○家庭学習の習慣化＝自学自習の意欲を促す課題、取り組める課題

○各種検定の推進

②思考力・判断力・表現力等の育成を図る。

〔全教育活動〕 ○習得した基礎的な知識・技能を活用して、自ら考え、判断し、表現することを重視した授業展開の構築（生徒の思考力・判断力・表現力等を育成）

※「主体的・対話的で深い学び」の実現

○平成30年度末の学習到達度目標（生徒一人一人がどのような力を身に付け、どこまで引き上げるのか）の明確化

〔授業中〕 ○発問の工夫

○「主体的・対話的で深い学び」の実現にむけた授業改善

○話し合い活動の工夫による学習の深化

○発表の仕方指導と聞き方指導の充実

○問題解決場面の意図的・計画的な設定

③主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。

〔全教育活動〕 ○生徒の主体的・積極的な取組（見通しと興味・関心）

○生徒が自らの学習活動を振り返り意味づけたり、獲得した知識・技能や育成された資質・能力を自覚したり、共有したりする

○実社会や実生活に関わる主題に関する学習の積極的な導入

○体験活動を充実させ、その成果の振り返りを次の学びにつなげる

○授業中等における、生徒一人ひとりのよさの積極的な評価

○自学自習の習慣づくりのための具体的な指導

（３）「健やかな体」の育成

体力の向上を図る。

○基礎体力の向上（保健体育科の繰り返し学習の充実）

○体力調査の結果の活用

○部活動（運動部）の充実（勝利至上主義ではない）

○学校行事の充実

○オリンピック・パラリンピック教育の充実

○健康教育・食育教育（家庭科、栄養士との連携）の充実

心の充実を図る。

○心と身体のバランスを重視

○安全教育の推進

○学校保健委員会の充実

○健康教育・食育教育（家庭科、栄養士との連携）の充実

（４）保護者・地域と連携した教育の充実【地域協働学校】

地域の教育力の活用を図るとともに、地域を支える中学生を育成する。

－「地域は教材」「地域は教室」「地域は先生」「地域は家族」「地域は世界への入り口」－

○地域協働学校運営協議会の充実

○隣接企業との連携

○学校評価の充実と活用

○開かれた学校づくりのさらなる推進

・保護者・地域住民の教育活動への参画（参画できる場面の計画的な設定）

○地域行事への参加－「牛込三中生の力」を地域で活用－

○ボランティア活動の充実

５ 平成３０年度・指導の最重点ポイント

〔大前提〕組織力の向上 「チーム牛三中」として教育活動を展開する

（１）生徒に関する指導 ○人権指導の推進 ・いじめ、からかい等に対する指導
○朝読書の推進

○場に応じた行動の向上 ・挨拶の励行（生徒の活動とともに）
・朝礼時の服装等、メリハリのある言動

（２）授業に関して ○特別の教科「道徳」に向けて ・道徳の授業力向上
・教科化への対応

○授業力の向上 ・相互の授業観察

（３）インクルーシブ教育の推進 ○教職員の理解と組織的な対応